

3月18日(日)に開催されました『第43回井原市消防操法訓練大会』小型ポンプ操法の部において、県主分団の選手一同は練習の成果を十分発揮し7度目の優勝の栄に輝き、来る5月20日(日)岡山県消防学校で開催されます『第65回岡山県消防操法訓練大会』の出場権を獲得いたしました。

これも、地域の皆様ならびに県主分団の伝統を培ってこられました消防OBの皆様方のご指導、ご鞭撻のおかげと選手ならびに団員一同深く感謝いたしております。



県大会では井原市の代表として日頃の訓練成果をいかんなく発揮し、ベストの操法が発揮できるよう県主分団一丸となり日夜訓練を重ねてまいりますので、引き続き地域の皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

県主分団長 佐藤 貴之



井原市消防操法訓練大会優勝



第17号

発行
県の里まちづくり推進協議会
県主地区自治連合協議会
県主公民館
県主地区社会福祉協議会



なお、井原市消防操法訓練大会で優勝の栄に輝きました出場選手を次のとおり紹介いたします。

指揮者 鳥越靖弘(1部)
1番員 藤井晃伸(3部)
2番員 河野兼三(3部)
3番員 鳥越大輔(3部)
補助員 佐藤拓也(3部)

第3回TOMOM食in県主

2月25日、第3回TOMOM食in県主が公民館分室で開催されました。

まず初めに、生涯学習課の妹尾様による「認知症を共に生きる」をテーマにしたDVDによる講座を受けました。子どもたちはその間、別室で企画された「絵本読み」で楽しいひとときを過ごしたのちお楽しみの食事会に移りました。

今回はボランティアの皆さんが腕を振るって作られた「ちらし寿司」に舌鼓を打ちながら和気あいあいと食事を楽しみました。タイヨーズの子どもたちも練習の後に来場、トータルすれば100名の参加者で会場は大いに盛り上がりました。前日を含め早朝から食事作りに奔走いただいたスタッフの皆様、楽しい食事の場を作っていただき有難うございました。

※当日の様子は6頁に掲載しています。

今後の 地域づくりの 在り方



井原市まちづくり協議会連絡会議
県の里まちづくり推進協議会

会長 岡田章文



今、日本の地方都市を取り巻く地域づくりは、官主導から住民主導の協働のまちづくりへ移行しつつあります。

先日、NHKの番組で人口減少により小さな集落がその機能を失い、消滅しつつあると取り上げられていました。

その中で、大学教授がこれからは協働から一歩進んで協創の社会を創り上げていく必要があると力説されていました。

協働のまちづくりの意義

とその取り組みが定着しないうちに、協働のまちづくりどころか、少子高齢化とともに山村の生活の不便さから若者たちが都会へと流出し、人口減少に悩む地域では、生活していくためのライフラインの整備・維持が追いつかない状態だという。具体的には道路整備や水道施設の維持等のインフラ整備、さらには住戸（住民）の減少による自治会の存続問題といったもので、行政側からすれば費用対効果から住戸そのものを集約

して生き残ろうとする事例があります。このような取り組みに住民が関わり、進めていくことを協創のまちづくりというのではないかと思います。

少子高齢化やコミュニティの弱体化など、地域を取り巻く環境は大きく変化している中で、私たちの地域でも近い将来考えられることです。

地域内の各種団体の活動目的は共通して「安心して住み続けたいまちづくり」だと思っています。

各種団体が情報を共有し、一体となつてまちづくりに取り組まない限り、より良い地域は望めません。このことは、市内の各地区に共通すること、1地区の問題だけではないと思います。

私はこれまで、協働のまちづくり組織に求められるものは何か、地域の中でおかれている立場は何かなど、日々模索してきました。

今求められるのは、前述のとおりより効果的にまち

づくりを進めていくために自治会や公民館・社会福祉協議会そのほか地域の各種団体が単独で活動するのではなく、一体化した取り組みをしていくことだと思います。

このためには、地域内の各種団体が一堂に会して、上下・席次の差別なく円卓を囲んで、地域の将来について自由に意見が述べられる場が必要です。

自治体も縦割り行政の中でも、各種団体への補助金や助成金の在り方を検討して、一歩踏み込んだ住民組織改革を行うなどをしていく必要があるものと考えます。

自治会・公民館・社会福祉協議会等は、古い歴史の上に成り立っており、井原市全体で今後の在り方を模索していくべきでしょう。そして、まちづくり組織がどう取り組んでいけばよいのか大きな課題であると思います。

県の里まちづくり推進協議会29年度事業のまとめ

平成29年度

がんばる地域応援補助金

県の里まちづくり推進協議会

広報紙発行事業



【目的】

各種団体発行の情報紙の統合と情報の一元化並びに労務・経費の節減

【事業内容】

地域情報全般を一つの紙面で提供。また、SNSやホームページなどでリアルタイムでの情報発信や過去の情報も掲載いつでも閲覧できるよう行っている。

【良い点・工夫点・課題など】

情報が一本化され、紙面も一段と見やすくなり、経費面・労務面においても効率化され地域に定着してきた。

「ふるさとのかかし」「かかしコンテスト」による地域活性化事業



【目的】

当地域の大きな課題である、衰退する農業を考える機会づくり

【事業内容】

- ① かかし祭り(かかしコンテスト)の実施
- ② 「ふるさとのかかし」づくり講座の開催
- ③ 「ふるさとのかかし」サミットへの参加

【良い点・工夫点・課題など】

継続的に開催することにより、子どもから大人まで農業について考える良い機会が増え地域への関心が高まってきている。また、2014年から実施している「かかし祭り」は地元産の食材や加工食品などの販売を行い、まちづくり事業の運営資金として活用している。



6次産業地元の一番開発事業



【目的】
農業振興の方策探し、事業の具体化



【事業内容】

サツマイモを使った、焼酎造りに取り組み、特産品としての位置づけをする。また、焼酎づくり以外にもサツマイモをポテトチップスした『夢チップス』を生産販売を行う。

【良い点・工夫点・課題など】

「サツマイモ」の栽培をまちぐるみで行い、安定した生産体制の構築と「芋焼酎 里の夢」をブランド化への推進をしていく。また、焼酎と一緒に楽しめる「夢チップス」の推進を図る。

人材育成事業

【目的】
主体的に行動ができる人材育成



【事業内容】

吉備国際大学 保健医療福祉学部 社会福祉学科 特任教授 米良重徳 氏を招へいしての講座開催予定

【良い点・工夫点・課題など】

地域内の各種団体が話し合いの中で、一体となってまちづくりを進めていく必要性」いわゆる『円卓会議』の意義について学ぶ。

命のペットボトル事業



【目的】

「ため池」に落水しても、駆け付けた人が救命する救命浮環を製作

【事業内容】

「ペットボトル」を活用した救命浮環を製作して設置と看板製作

【良い点・工夫点・課題など】

あってはならない不慮の事故ではあるが、いざという時に機能するように定期的なメンテナンスを実施していく。



ふるさと便利屋さん事業



【目的】

高齢者世帯や一人暮らしの世帯の軽微な作業を肩代わり

【事業内容】

- 電球・蛍光灯の交換
- 小さな工事
- 草刈り・簡単な剪定
- 支障木の伐採

【良い点・工夫点・課題など】

県の里まちづくり推進協議会の根幹事業としていきたい。

地区社協 理事研修

社協 榎平裕子

12月3日、穏やかな瀬戸の海を渡って丸亀市の「どろんこ亭」の研修視察に参加しました。

子ども心にかえって時を忘れ、楽しい時間を過ごしてほしいとの思いが込められたこの場所は、外観も古材など自然素材をふんだんに使った手作りの建物でした。地域のコミュニケーションの場として世代を超えて縁がつながっていく場所になってほしいとの願いが込められていました。

私たちは、用意されていたピザ生地を伸ばし、思い思いの具材をトッピングして石窯でピザを焼きました。施設長さんの穏やかで前向きな話とこんがり焼けたピザと豚汁に心もお腹も、心地よく温かく満たされました。

また、晩秋の紅葉の残る中津万象園と丸亀美術館に

立ち寄り、樹齢600年と言われる大傘松と八つの島を橋で結んだ大名庭園、ミレー・ルソー・コロ・クルベなどの絵画を堪能して帰路につきました。

大谷山三十三観音巡り

社協 森本峰子

3月11日、27名の参加者を得て恒例の大谷西国三十三観音巡りが開催されました。

午後1時金剛福寺に集合、藤井会長が参加者へのお礼と、交流を深めながら巡りましようかと挨拶し、井上ご住職の導師のもと、境内に安置された「粉河寺」千手観音にお参り、観音巡りの安全と参加者の全員の健康を祈願し全員で般若心経を唱え、第四番札所「施福寺」観音に向け金剛福寺を出発しました。

二番札所の金剛宝寺までは急な山道、元氣よく登り切り大谷山の頂上に到着し

ました。ここからはほぼ平坦な道のりで、お互いに会話も楽しみながら巡って行きました。一番難所の急な坂道を足元に気を付けながら慎重に下り岩瀧観音（安産と子宝）へ到着。ここまでの無事を感謝しながら唱える般若心経が静かな谷間に響き渡りました。

小春日和の中、大谷街道に入る頃には少し汗ばみながらも、みんな疲れも見せず、足どり軽くゴルフ場沿いの観音様に手を合わせながら最後の札所「観音正寺」を経て六道様へ。全員怪我もなく無事に観音巡りを終えた感謝の気持ちを含めて般若心経を唱え解散しました。

毎年参加・久しぶりに参加・初めて参加された人、それぞれの思いを胸に県主の自然にふれながら交流を深めることができたものと思います。

参加者の皆様のご健勝をお祈りいたしますとともに、来年は更に多くの方に観音

巡りをさせていただきたいと思えます。

観音巡り開催に当たり遍路の整備をしていただきました社協関係者・六和会の皆様、ご接待をいただきました金剛福寺様、諸準備をいただきました社協担当者の方々本当にありがとうございました。



同好会・サークル会員募集

地区内で活発に活動されている各種同好会・サークルの会員を募集しています。

- ・グラウンドゴルフ同好会
- ・琴同好会
- ・生花同好会
- ・パンフラワー同好会
- ・鳥羽踊り子ども伝承教室
- ・傘踊り保存会
- ・太極拳同好会

お問合せは公民館まで



絵画寄付感謝状贈呈

前号で紹介いたしました蔵本厚徳様の油絵ご寄付に対して井原市より感謝状が蔵本敏秀様に贈呈されました。



笑いの講座開催

公民館 森下和美

2月18日(土)、「平成29年度笑って健康アップ事業」、「笑いの講座」が公民館並びに地区社会福祉協議会との共催で、100名の参加を得て小学校体育館で開催されました。

この度の講座は、マジシャン林王子・ゆかりさんによる本格的なマジックショー、住宅正人さんによる「ちくわ笛で巡るふるさとの旅」と題し公演をいただきました。

講座に参加された皆様は、本格的なマジックに驚き、軽妙なトークに笑いを誘われるなど、楽しいひと時を過ごされたものと思います。また、住宅正人さんの公演ではちくわ笛の演奏・民謡に併せ軽妙なトークを堪能されたのではないのでしょうか。

人間は笑うことで免疫力・記憶力のアップや血行

促進など多くの効果があると言われていきます。これを機会に家庭内やご近所などで笑う機会を多くつくり、健康アップに繋がっていただければと思います。

最後に会場準備・運営並びに参加いただきました皆様に感謝を申し上げます。





1/3

県主地区新年互礼会



2/25

第3回 TOMO 食 in 県主
「認知症と共に生きる」 出前講座



2/11

ふれあいセンターまつり



3/11

鳥羽踊り子ども伝承教室発表会

県主のわだ い



1/13-14

まちアートに参加したかかしたち



1/28

第14回「ミナクルネ」
イルミネーションコンテスト表彰式

見事準優勝に選ばれました。





1/10

盛大に開催されたとんど集会

とんど集会 藤井 乙葉
私が一番心にのこったことは、竹で餅を焼いたことだ。なぜなら、今まで竹で餅を焼いたことがなかったからだ。

餅を焼いていると、手がだるくなかった。その時、竹を置くのにちょうどいいY字の物を見つけた。だから、そこに竹を置いてみた。案の定、手は楽だし、餅は上手に焼けるし、一石二鳥だ。それを見ていた男子が「いいな。いいな。」と言ってきた。餅が焼けて食べた。まるで赤ちゃんのほつぺたのように柔らかい餅。家でトースターで焼いた餅と、とんどで焼いた餅は、味が何か違うなと思った。私は、とんどで焼いた餅の方がおいしいなと思った。今年は、竹で餅を焼いたり、杵で餅をついたり、とても貴重な体験をさせていただいたと感謝している。

とんど集会

種川ほのか

私が一番心に残っているのは、餅つき体験。なぜかという、初めて餅つきをしたからだ。事前は「できるかな。」と思って、少し不安だった。意外と簡単なのかなとも思っていた。意外と難しかった。だから一度餅をついてみた。意外と難しかった。だから、協目の人が大きな声で「よしよし。」と言っていた。そして、最後の1回になった。最後の1回が一番いいようにつけた。とてもうれしかった。とてもいい体験になった。最後のとんど集会が一番心に残った。とても力が要ったけど、とてもいい経験になった。

しめ縄集会

日谷明々子

私が一番心に残ったことは縄をなうところ。なぜなら、凸凹していて、なかなか上手に出来なかったからだ。最初は力を入れずになんとなくやっていた。そうしたら、凸凹の縄ができてしまった。「どうしよう。」と思った。そうしたら、父が「いいじゃん。」と言った。でも、納得いかなかった。そうしたら、自分が納力を入れて慎重にやった。そうしたら、自分が納得

得できるくらいの縄になった。とてもうれしかった。父も、「下手に出来たな。」と言って褒めてくれた。作るのは苦労したけれど、上手に出来たから「終わり良ければすべて良し」と思った。貴重な体験が4回もできて本当に良かった。

しめ縄集会

森岡紀美子

今年はおじちゃんに「やり直して。」と言われないうちにできたらしいなと思っていた。なぜなら、5年生の時に、「柔らかいけえ、やり直して。」と言われていたからだ。だから、一生懸命しようと考えていた。いよいよしめ縄集会が始まった。おじいちゃんが説明をした。「わからないことがあったら、おじいちゃんに聞こう。」と思ってた。なぜなら、今年は練習をしていなかったからだ。でも、いいようにできた。

飾りができて、ブルーシートに座っていると、ふみおさんに、「紀美ちゃん、いいように出来た。」と聞かれた。うなづくことができた。来年からは、学校で作らなくなるけど、家でまた作りたい。

しめ縄集会

今橋 叶

時間までにできるか少し心配だった。なぜなら、やり方を完全に忘れていたからだ。5時間目の前に体育館に行くけど、もう、大人の人はたくさん来ていた。ぼくは、不安で、「できるかな。」と言う言葉を口にしていった。作業に取り掛かると、すぐに地域の方々が教えてくださった。紀美子さんのおじいさんが手本を見せてくださった。10秒ぐらいで編み終わっていたので、「すくすく速い。」と思った。そして、とてもきれいに作ってあった。

いよいよしめ縄を作ろうと一心不乱に頑張った。時間ぎりぎりに完成した。間に合ってよかった。お手本のようにうまくいかなかったかもしれないが、自分的には、満足のいく物が作れた。

6年生学年だより「Brains」より抜粋

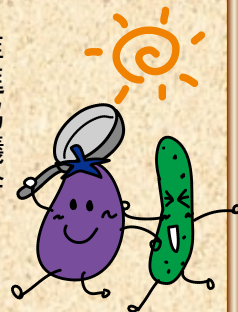


無人野菜販売所

リニューアル&出品者募集

県の里まちづくり推進協議会

みのりの里部会



この度、無人野菜販売所をリニューアルオープンしました。

防犯カメラとセンサーライトを付けました。

これから春野菜が出てきます。益々売り場の充実を計り、皆様に喜んで頂けるよう努力してまいります。

近所の方も作っておられて差し上げる事もできない。畑に置き忘れられた野菜。食べ切れなくて残った野菜等を出荷して下さる方を大募集しています。短期間でも大歓迎です。出し方等についてはお問い合わせください。

問い合わせ先

県主公民館

(☎62-7812)



現在、出品されている方を紹介します。

・めぐみ農園さん

(西江原町)

・岡田 仁美さん

・山本 俊和さん

・蔵本 敏秀さん

・岡田 章文さん

・花本 文恵さん



ご寄付ありがとうございます

ございました

県主地区社会福祉協議会へ

花本文恵様(亡夫)

北田雅之様(亡母)

渡邊和俊様(亡父)

吉仲英昭様(亡妻)

佐藤啓子様(亡夫)

藤井宏明様(亡祖母)

西山博文様(亡母)

門田楽寿会へ

蔵本敏秀様(亡父)

西方楽寿会へ

北田雅之様(亡母)

紙面をもってお礼にかえさせていただきます。

出生おめでとう

ございます

佐藤真洋・稔子さん

女の子 里風ちゃん

(10月28日生まれ)

訂正とお詫び

みんなの県主16号の掲載内容で、県主地区社会福祉協議会へいただきましたご寄付にご芳名の誤りがありましたので訂正の上、お詫び申し上げます。

【誤】北田里美(亡父)

【正】北田里美(亡夫)